

日バス協技第318号  
平成28年10月6日

各都道府県バス協会 会長 殿

公益社団法人日本バス協会  
会長 上 杉 雅 彦

### 高速道路における安全確保の徹底について

平素より当協会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

標記について、国土交通省自動車局安全政策課長から別紙のとおり通達が発出されました。

本通達は、本年10月2日に愛知県岡崎市の新東名高速道路上り線において、路肩に停車していた高速乗合バスに大型トラックが追突し、車外に出ていたバスの運転者2名が死亡し、バスの乗客とトラックの運転者の計3名が軽傷を負うという重大事故が発生したため発出されたものです。

つきましては、大量の輸送需要が見込まれる年末年始に向けて、乗客乗員等の死傷事故を発生させることのないよう、貴協会傘下会員事業者に高速道路における安全の確認に万全を期するよう周知徹底のほど、よろしくお願い申し上げます。

担当：技術安全部（山川・仁保）  
電話：03-3216-4015



国自安第127号  
平成28年10月4日

公益社団法人 日本バス協会会長 殿

国土交通省自動車局安全政策課長



高速道路における安全確保の徹底について

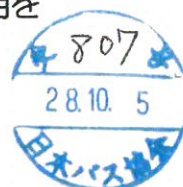
事業用自動車の事故防止については、「事業用自動車の安全確保の徹底について」（平成28年9月21日付け、国自安第121号）等により通知し、安全運行の確保をお願いしているところですが、秋の全国交通安全運動が終了した直後の10月2日、愛知県岡崎市駒立町の新東名高速道路上り線において、路肩に停車していた高速乗合バスに大型トラックが追突し、車外に出ていたバスの運転者2名が死亡し、バスの乗客2名とトラック運転者の計3名が軽傷を負うという重大事故が発生しました。

事故の原因については、現在、警察において捜査が進められているところでありますが、今回の事故は輸送のプロである運送事業者同士の事故であるとともに、路肩に停車中の車両に追突するという基本的な安全確認不足によるものと思われる事故であり、自動車運送事業そのものの社会的信頼を大きく失墜させるもので、誠に遺憾であります。

このため、大量の輸送需要が見込まれる年末年始に向けて、重大事故を防止し、乗客乗員等の死傷者を発生させることのないよう、高速道路においては特に下記の点に注意し、輸送の安全に万全を期すよう、貴会傘下会員に対し改めて周知徹底をお願い致します。

記

1. 点呼等を通じて、運転者の健康状態、過労状態の確実な把握に努め、安全な運行ができないおそれのある運転者を事業用自動車に乗務させないことを徹底するとともに、運転者に対し、適正な車間距離の確保、道路状況等に適応した安全速度の遵守等安全運行に係る適切な指示を行うこと。
2. 高速道路において、故障等でやむを得ず停車する場合は、路肩に寄せて停車させ停止表示器材や発炎筒を設置するとともに、運転者等が車外に出る場合には後続車等に十分注意するなどの安全確保措置をとること。
3. 運行中はもとより、停車中に車内にとどまる場合にも乗客乗員のシートベルトの着用を徹底すること。



## 高速で停車中のバスにトラックが追突 バス運転手2人死亡

2日未明、愛知県岡崎市の新東名高速道路の上り線で、故障のため道路脇に止まっていた観光バスにトラックが追突し、外にいたバスの運転手2人が側壁と車体の間に挟まれて死亡しました。警察は、トラックの運転手から事情を聴くなどして事故の原因を調べています。

2日午前2時すぎ、愛知県岡崎市の新東名高速道路の上り線で、故障のため道路脇に止まっていた大型の観光バスにトラックが追突しました。

この事故で、いずれも観光バスの運転手で、故障した箇所を確認するため車の外に出ていた大谷秀雄さん（53）と染谷文彦さん（50）の2人が側壁と車体の間に体を挟まれました。2人は病院に運ばれましたがその後死亡が確認されました。また、バスの乗客の22歳の女性も軽いけがをしました。

バスを運行していた大阪・浪速区の「中央交通バス」によりますと、このバスは1日夜、27人の客を乗せて大阪市内を出発し、東京ディズニーシーなどに向かう途中で、ブレーキに不具合が起きたため停車していたということです。

警察は、過失運転致死傷の疑いでトラックの57歳の運転手から事情を聴くなどして事故の原因を調べています。

「突然大きな衝撃、車内はパニックに」

バスに乗っていた27人の乗客のうちけがをしなかった26人は愛知県豊田市内の中日本高速道路の施設に集められています。

このうち、会社の内定式に出席するため東京に向かっていた大阪豊中市の24歳の大学院生の男性は「事故の前、パーキングエリアだけでなく何度かバスが道路脇に止まったが、どうしてなのかは説明がなかった。事故が起きた時、私も含めてほとんどの人が寝ていたと思うが、突然、大きな衝撃があつて後ろを振り向いて見るとバスの後部がつぶれていた。後ろに座っていた人はいなかったようだが、車内はパニックになっていた」と話しています。

バスの親会社の話

「中央交通バス」の親会社で大阪市にある「中央交通」の林俊一営業所長は、「けがをしたお客様と予定どおり現地に到着できなかったお客様にご迷惑をおかけしてしまいました。1日の昼に点検整備したときには異常は見つからなかった。今後警察から話を聞くとともに、バスのドライブレコーダーを見て当時の詳しい状況を確認し、再発防止を徹底していきたい」と話しています。

NHK ニュース 2016年10月2日